

# 「人生の分岐点」を どうとらえるか

岡崎市社会福祉協議会

会長 太田 俊昭 氏



教育随想

令和三年六月末、岡崎市社会福祉協議会の会長に就任させていただきました。

思い返せば、トヨタ自動車(株)勤務時代、上司から三現主義、「現地」「現物」「現実」の大切さを学び、「着眼大局・着手小局の精神」で具体的に実践していくこと学びました。

平成十二年、岡崎市議会議員候補者に選出されましたが、父の老人性痴呆症(現在の認知症)・徘徊で八年余りの介護で大変な時期でもあり、一年余り断り続けていましたが、家内の後押しで議員への挑戦を決意しました。

初当選した翌日の平成十二年九月十一日から十二日の未明に東海豪雨が発生し、岡崎市も甚大な被害を受けました。現場を見るにつけ今後の議員活動は、「正確な被害状況把握、一刻も早い市民の安全確保と被害場所復興」をすること、この日の思いを忘れることなく五期二十年、市民



令和5年4月1日

## 4月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想……………	1
岡崎市社会福祉協議会 会長 太田 俊昭 氏	
この人に聞く……………	2
料理研究家 西川 理恵 氏	
羅 針 盤……………	2
南中学校 校長 加藤 有悟	
ふれあい……………	3
小豆坂小学校 教諭 永田 祥晃	
特 集……………	4
令和5年度 岡崎の教育	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
交通安全教室(昭和54年)	
この本を……………	8

の「安全」「安心」のために尽力してきました。

社会福祉協議会への就任依頼は、新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言発令中」の厳しい時期でしたが、必要としてくれる人への感謝と、これまでの恩返しとの思いから承諾させていただきました。

本市の社会福祉協議会は、昭和二十六年県下で初めて設置されました。収入は「善意の寄付金、共同募金、市の補助金・受託金等」が主な財源です。

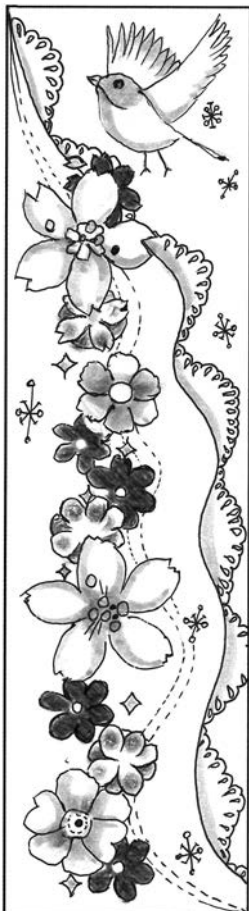
令和三年四月に社協が勤労文化センターに移転し岡崎市社会福祉センターとして、ボランティアや地域活

動の支援拠点として地域福祉の推進の役割を担っています。

現在、「寄付金の確保」と「支援拠点の周知」を進め「誰もが支え合え・気楽に来場」できる拠点を目指す取り組みを進めています。

人生には大きな決断をしなければならぬ『分岐点』があります。振り返れば私は、人生の岐路に立った時、いつも困難なほうの道を選んできたと思います。私なりの道しるべは、『実力とはやれるかやれないか』、『実行力とはやるかやらないか』の自問自答です。

(おおた としあき)





## 「作る」「食べる」喜びを共に

料理研究家

西川 理恵氏

「これまでに料理研究者としてチャレンジしてきたことは――

岡崎市の八丁味噌や碧南市の白醬油など、地元の良い食材を使ったヘルシーな料理を十年間ほど研究してきました。その成果を試すため、いろいろなコンテストに応募したところ、醬油のレシピコンテストで、最優秀賞を受賞しました。それをきっかけに、民放番組に出演しました。また、チャンネルミックスの「食遊彩々」で地元野菜と味噌を使ったオリジナルレシピを紹介したり、岡崎市にある「暮らしの学校」で料理教室を開いたりもしました。

「小学校の子供たちと料理をするようになったきっかけは――  
「豆腐って作れますか」という、あ

る先生の一本の電話がきっかけでした。「学校で作った大豆を使って、豆腐を作ってみよう」、そんな先生の思いを受け、私は子供たちでもできるような豆腐作りの手順を考え、一緒に作りました。この豆腐作りをきっかけに、この小学校では、一年に一度、ボランティアとして子供たちと一緒に料理をしていました。

このときのために、子供たちが学校で作った食材を使い、子供たちで作れるレシピを考えます。どんな子ども、食べることで目元の輝きが違ってくる。口に入れるもの、どのような手順でできるのかを知ることが分かってくるようです。自分で料理を通して、「こんなものもできた」、「食べられなかったものが食べられた」という喜びを実感してほしいと思います。

「レシピを考える際に大切にしていることは――

とにかく、みんなと一緒に食べておいしいものを作りたいと思ってレシピを考えています。アレルゲンフリーのお菓子、ヘルシーなおかずなど、今も考えているところです。

作ったレシピを基に、最低三回は試作をします。良いものを作るためにも、作る人が困らないためにも、誰かに出す以上は責任をもたないといけないからです。レシピのことを

考えていて眠れなくなってしまったときもありましたが、それでも楽しいから続いています。

また、身近な地元の食材を使うことも大切にしていきます。調味料一つで料理は味が大きく変わります。その調味料として八丁味噌を使えば、味は間違いなくおいしくなるということが実感できました。他のものと比べると、味が全く違います。長年品質にこだわりをもって作られた八丁味噌は、本当に良いものなので、自信をもってお勧めできます。

「料理研究者としての願いは――

これからも、ヘルシーにこだわった料理を考え発信したいです。みなさんと一緒に作ったり食べたり、料理を共有して楽しみたいと思います。

学校でも調理実習が制限されていると聞きますが、子供同士で経験を共有することは大切なことです。子供たちがその経験を家にもって帰って、家族と一緒にもう一回やってみることが理想です。とにかく子供たちが、自分の手で作って食べる機会が増えようと思います。そのため自分が関わっていける機会があるならうれしいと思っています。



氏名

にしかわ りえ

住所

岡崎市天白町

## 発見学習

南中学校

校長 加藤 有悟

一九六〇年に作成された学習指導案「世界の国々」(六年社会科)を目にする機会を得た。内田松夫先生(当時梅園小)の立案である。

本時は、「植民地から立ち上がり新しく独立した国」として、インドを扱っている。究明段階で子どもは、「インドの独立前後の貿易」のグラフ等をもとに、独立前は原料輸出中心であったこと、独立後は製品輸出が多くなってきたこと、植民地支配の構造等を「発見」していく。内田先生は社会科の基本は、「社会における人間の生き方に迫ること」と考えていたが、その授業の柱は、「資料(グラフ)」と「発見」だったのである。

一九七二年の実践記録「明治用水」(四年社会科)を読む機会を得た。中山昌司先生(当時矢作北小)の執筆である。中山先生は、「見方考え方







## 子供の可能性を信じて

小豆坂小学校

教諭 永田 祥晃

爽やかな秋の風が吹き始めた教室で、運動会の実行委員を決める特別活動の授業が行われた。運動会の成功に向けて動き出そうとする子供たちから、熱いエネルギーを感じた。しかし、Aからは、同じ熱さを感じることがなく、むしろ自分事として考えていない気さえした。

Aは、素直で明るく、真面目な子であるが、いつも誰かのそばにいて、自分から何かをしようとするものがなかった。この特別活動の授業の前に、「運動会で実行委員をやってみたい」と、「運動会では、Aに声を掛けよう」と、そととAに声を掛けたが、Aは首を横に振った。「やったことがないし、自信がないよ」とつぶやいた。予想通り、実行委員に立候補しなかった姿を見て、もどかしさを感じた。私は、なんとかAに自信をもたせ、進んで取り組めるようになってほしいと考えるようになった。

理科の「このはたらき」の授業で、研究授業をすることになった。グループ学習を取り入れ、代表を中心に実験を進めていくように計画した。私はAにグループの代表を任せてみることにした。きつと周りの友達に意外性に目を丸くするだろう。しかし、Aは実験結果をノートにまとめる力が素晴らしい。きつとAの活躍の場になるだろうと考えた。

いざ授業が始まると、心配で気になって仕方がなかった。てこの規則性を見つかる時に、「みんなはAさんに伝えてね。Aさん、みんなをまとめてね。頼んだよ」と、声を掛けた。そんな私に対して、Aは、張り切った様子で、大丈夫と言わんばかりに指で丸を作って答えた。

Aは代表として、「Bさん、60gのときはどうだった」と声を掛けながら、データを集めていた。次から次へ、データがAの下に届いたが、手際よく処理していった。そして、もつと詳しくデータを取りたいと、グループの代表としてグラム単位で調べる道具はないかと聞きに来た。Aのグループは盛り上がりつつあった。

集めたデータの表から、グラフを作り、規則性を説明した。周りの子から「なるほど」「本当だ」と反応が返ってきた。Aは、その反応に嬉しそうにしていた。そして、普段は学級の中で発言が少ないAが自信をもって発表する姿を友達が見て、発

表後には「おおっ」という歓声が上がった。グループの友達から、「Aさんは頼りになる」と声が聞こえた。「みんながそう言ってくれるのはうれしいね」と声を掛けると、少し照れくさそうに目を細めて頷いた。

秋の風が冷たくなってきたころ、修学旅行の準備が始まった。私は再度「リーダーに挑戦するチャンスですよ」と声を掛けた。Aは班長に立候補した。友達からは応援する声が聞こえた。班長になったAに、「すごいじゃないか」と声を掛けると、Aは、「計画を立てるのならできると思ってた」とはにかんで見せた。そして、「みんなにとつて、いい思い出にしたいから」と付け加えた。全員が熱いエネルギーを出して計画した修学旅行は、成功するに決まっていた。



の変容をめざす」ことを目的に定め、実践している。目的達成の道筋を、「子どもの事前の意識↓変容のきっかけをつくる問題意識↓変容に結びつく事実・資料↓発展的な見方考え」と構想して授業を展開している。

中山実践の柱も、「事実・資料」と「発見」である。従って、全五時間の単元で利用した全ての「事実・資料」を明示している。例えば、第二時では「安城付近の地形」「川の分布」「ため池や井戸の分布」を、第五時では「現在の土地利用図」「田畑の増加」「畑から水田になった面積の変化」を取り上げている。子どもはこうした「事実・資料」をもとに、新たな知見の「発見」を積み重ねて、見方考え方を発展させている。

半世紀以上前の岡崎の先達の実践は、私たちに重要な示唆を与えてくれる。それは、子どもが「発見を積み重ねて学びを前進させる」ということである。「内容面での主体性の重視」と「科学的知性（認識・技能）の成長の保障」とも言える。現在、授業運営方法論としてチーム学習を取り入れた授業がある。そこに、教育内容論と子どもの知性成長論を重視する「発見学習」を取り入れれば、学びの質はより高いものとなる。



# 令和5年度 岡崎の教育

▲ 5年 社会科「これからの食糧生産とわたしたち」(大門小)

## 岡崎の教育が目指すもの

「学校が子供に適應する」「多様性を認める」「温かく迎える」。

F組の理念は、まさに学級、学校が子供たちの「居場所」となるために大切な考え方であり、岡崎の教育が目指すものである。それは、教育とは全ての子供たちにとって夢見るもので、希望に満ちたものであり、明日に期待するものでなくてはならないからである。

本市が令和三年に策定した、「岡崎市学校教育等推進計画」の基本理念は、「未来を拓き 豊かに生きる力をもった子供の育成」自立・共生・創造を目指して」とし、その実現に向けた基本目標を次の六点としている。

- ① 未来を生きる資質・能力を育成する魅力ある教育の推進
- ② 子供の多様性や特性を認め、可能性を伸ばす教育の推進
- ③ 岡崎の人・もの・ことを生かした特色ある教育の推進
- ④ 教職員が生きて働きと働くことができる働き方改革の推進
- ⑤ 持続発展可能な教育を実現する学校教育環境の整備
- ⑥ 家庭、地域、学校との連携・協働の推進

今、教育界は大きな改革の流れにあり、岡崎の教育もその中で、様々な改革を進めている。令和五年度は、「学び方改革」、「子供支援改革」、「教育のDX化」、「働き方改革」の四点を大きな柱に据え、新しい岡崎の教育を構築すべく、引き続き、挑戦と創造の心を大

切に取り組んでいく。そして、未来を拓き、次世代を生きる子供たちの資質能力を育てていきたい。

しかし、どんなに改革が進もうと、目の前の子供に寄り添い、子供の姿から授業研究を重ね、自らの指導性や専門性、人間性を高めるべく努力してきた岡崎の教師の情熱が、重要であることは言うまでもない。

この姿こそが、岡崎の教育の不易であり、本質でもある。

## 岡崎の教育が大切にしてきたもの

教育の目的は、教育基本法第一条にある「人格の完成」を目指すことにある。そして、学校教育に求められているものは、子供が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生きぬくための基盤となる能力を育成することと、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人間形成を図ることである。その原点には教師の「子供の幸せを願う強い思い」と「人間形成への情熱」がなければならぬ。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視しつつ、個に応じた指導を充実するなかで、公共の精神を尊び、誰ひとり取り残すことなく、児童・生徒の個性を認め、伸ばす教育を展開することが大切である。そのために、学校や地域の実態に応じて、「自立」「共生」「創造」を核に、特色ある教育課程を編成し、子供が自他を敬愛し喜んで通える、誰ひとり取り残さない、安全で魅力ある学校づくりを目指す。「教育は人なり」の至言のごとく、岡





▲ 教師力アップセミナー国語「何のために何をするか」



▲ 未来型推進教育「ピラミッドの謎に迫る！」(矢作中)

岡崎の教育は、これまで、社会や時代の要請に応え、特徴ある教育活動を推進してきた。その姿勢はこれからも変わることはない。

一方で、人間の予想を超えた急速なグローバル化、情報化や技術革新は、社会にも多様性をもたらし、人間生活を質的にも変化させつつある。こうした社会的変化は、先を見通すことをさらに困難にし、教育の在り方にも大きな影響を与えている。

子供たちが、こうした予測できない未来に対応するためには、社会の変化に受け身ではなく、自ら考え判断する力、仲間と協力し実行する力、多様性を理解し、互いを尊重し合って共に生きる力、新たな価値を創造する力が必要である。

そのために「学び方改革」を通して、

崎の教師は、教育者としての使命感に燃え、全校一致の指導体制のもと、敬愛の情で結ばれた師弟関係を築き、家庭と地域と学校とが協働し、信頼される教育の創造に努める。

特に指導の重点を次の三点とする。

○ 学ぶ楽しさを実感し、深く考え、学び続けるための「確かな学力」を育む教育の推進

○ 命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための「豊かな心」を育む教育の推進

○ 体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための「健やかな体」を育む教育の推進

**未来を見据える岡崎の教育**

全ての子供が分かる喜びを味わい、自ら学ぶ意欲を高める、令和時代の全員参加型の授業を実践、研究していく。

また、子供の発達を支える「子供支援」の充実を図り、全ての子供の心理的安全性を保障し、子供たちの可能性を引き出す教育活動を推進していく。

さらに、「岡崎版GIGAスクール構想」のさらなる充実により、授業の在り方のみならず、子供同士の新たな関わり方を研究し、「教育のDX化」の有効性を検証していく。

岡崎の子供たちが、予測できない社会変化に主体的に向き合い、未来の創り手となる力を身に付けるよう、これまでの「岡崎の教育」を継承しながら、社会や時代、岡崎の現状を踏まえ、岡崎の子供たちのために、未来を見据えた取り組みを展開していく。

**重点努力事項**

- 今、私たちが取り組むべき事柄として以下の四つを挙げる。
- ① 学び方改革
    - ・ 一斉授業から脱却し、チーム学習を中心とした、誰ひとり取り残さない学びを推進する。
    - ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化による「全ての子供たちの学ぶ意欲」を高める授業を研究する。
    - ・ 完全実施された新学習指導要領を着実に実施する。
  - ② 子供支援改革
    - ・ 市独自32人学級実施による、きめ細かな子供支援の充実と検証を行う。
    - ・ 「居場所づくり」「絆づくり」の充実

を図るとともに、「いのちの教育」を推進し、温かい学校づくりをする。

・ 子供の発達を支え、子供の自立を促す生徒支援の視点をもった、教育活動の推進を図る。

・ ストップ・ザ・いじめアクションプランのPDCAサイクルを図り、いじめの未然防止の確な対応をとる。

・ 全中学校設置の校内フリースクールを充実させ、長期欠席者等、全ての子供の学校生活を保障する。さらに、小学校への設置も研究していく。

・ 外国人児童生徒への指導・支援を充実する。

・ 子供のためになる、部活動地域移行の計画と実現を目指す。

③ 教育のDX化

- ・ 「岡崎版GIGAスクール構想」の確実な運用、SINETを活用した未来型授業の実践を推進する。
- ・ 全小中学校に配備する電子黒板を活用した、授業実践の研究を進める。
- ・ プログラミング学習を継続実践し、さらなる充実を図る。

④ 働き方改革

- ・ 「新しい時代の学校デザイン」の推進により生まれた、「自由度の高い時間」の在り方について、研究、検証する。
- ・ 教職員の新しい研修体系の確立と実現により、「新たな教師の学び」の推進を図る。
- ・ OKAZAKIスマートワークを積極的に推進するとともに、教職員自身が時間外在校等時間を把握し、その業務内容を十分に認識して、よりよい働き方をマネジメントする。



●教育最新情報

◆校内フリースクール「F組」増設

令和四年度、岡崎市内では中学校十四校（甲山中、美川中、南中、竜海中、葵中、城北中、福岡中、東海中、岩津中、矢作中、矢作北中、新香山中、北中、六ツ美北中）に校内フリースクール「F組」が開設されている。

令和五年度は、さらに六校（河合中、常磐中、六ツ美中、竜南中、額田中、翔南中）に新たに開設される。これで市内すべての中学校に校内フリースクール「F組」が開設されることになる。今後も子供たちの「社会的自立」を目指し、一人一人に寄り添った支援を行っていく。

●教育関係機関だより

◆岡崎市総合学習センター

○教育研究所

(1)教育図書室

学習指導案の閲覧、図書資

料の貸出し、学芸会等行事のDVD資料の視聴ができる。

(2)教育アドバイザー

教育に関する様々なことについての相談ができる。

(3)学校運営アドバイザー

学校運営についての相談ができる。

◆教育相談センター

教育相談部門と通所・支援部門・福祉的支援部門がある。

(1)教育相談部門には、「そよかぜ相談室」がある。

○そよかぜ相談室

就学支援・特別支援教育、

いじめや長期欠席等に関する支援をしている。そよかぜ相談室に相談をする場合は、

電話予約が必要となる。その後、通所し、臨床心理士や相談員と相談する。また発達障

がいの専門家（大学教授等）が巡回相談を行っている。

(2)通所・支援部門には、長期欠席児童生徒校外適応指導

教室「ハートピア岡崎」等がある。

○ハートピア岡崎（竜美・上地）

長期欠席や、その傾向のある子供が学校への復帰や社会的自立を目指して通所し、

指導員やハートピア専属の臨床心理士による支援を受

ける。通所については、学校を通して手続きを進める。

(3)福祉的支援部門にはスクールソーシャルワーカーを配置

しており、令和五年度は、二名増員し、計十三名となる。

○スクールソーシャルワーカー

子供が置かれている環境や、抱えている課題を踏まえ、

関係機関との連携・調整や支援を行う。福祉や教育に精通した社会福祉士や教員OBが

対応する。

◆日本語初期指導教室「希望」

（プレクラス）

岡崎市内の小中学校に編入学、転入学してくる日本語

教育を必要とする児童生徒は増加傾向にある。それに伴

い小学生（四年生まで）・中学生を対象とした日本語初

期指導教室「希望」（通称プレクラス）を南中学校内に開設している。

プレクラスでは、学校生活になかなか馴染めない日本

語指導が必要な児童生徒が、安心して日本の学校に通う

ことができるように、初期段階の日本語の習得や日本文

化への適応を図ることを目指している。

●表彰関係

◆愛知県中学校総合体育大会

○男子剣道団体の部

優勝（岡崎市栄光章）

矢作中

小野田伊織

小久保拓樹

大野 巧真

福田 大翔

中島 慎

中島 昊

○男子剣道個人の部

優勝（岡崎市栄光章）

矢作中

重富 朝陽

○中学生以下の部

銅賞

北中

浅田奈菜美

松本 彩楓

柴田風羽香

田中 洸有

○中学校 重唱部門

出場

竜海中

◆第41回全国中学生人権作文

コンテスト中央大会

法務省人権擁護局長賞

南中

中根 鏡子

◆「家庭の日」県民運動啓発

ポスター

○児童の部

佳作 広幡小 眞下 悠翔

◆第38回防災ポスターコン

クール

入選 大門小 中村 華奈

◆税の標語

全国関税会連合会入選

広幡小 石田 佑汰

大門小 石川 媛子

◆福祉体験作文コンクール

入選 美川中 江坂 祐依

◆MOA美術館全国児童作品展

入選 矢作北小 除本 葉瑠

◆学校安全表彰

学校安全優良校 常磐東小

●期待の新任教員

令和五年度岡崎市小中学校新規採用教員は一二五名（養護教諭・栄養教諭を含む）である。

なお、新任教員の各学校への配置は、次のとおりである。

梅園小学校 飯塚 勇氣

磯谷 京香

根石小学校 畔柳 晶帆

尾野 僚彦

菅原 雪見

安藤 朱里

鈴木 杏子

久田 義純

今村 有佐

北山 聡太

清水 結和

加納 音汰

小林 愛夏

岡崎小学校 太田さくら

鈴木浩太郎

細井 彩位

六名小学校 太田 周作

大樹寺小学校	岩津小学校	細川小学校	奥殿小学校	常磐小学校	常磐南小学校	生平小学校	本宿小学校	藤川小学校	竜谷小学校	福岡小学校	愛宕小学校	井田小学校	広幡小学校	連尺小学校	竜美丘小学校	三島小学校	中屋陽貴	藤井真子	正木梨奈	織田海斗	兼原瑞来	岡田菜月	後藤圭佑	新名香織梨	今井美羽	織田真弘	桜井鞠衣	中神郁海	足立剛大	石川奈波	越智藍美	川富理加	下村和人	小林愛未	松本扶弥	三輪眞友	田邊純渚	石川晶善	石原李華	富田和樹	仁井本昇也	栗野康之介	鈴木花実	近藤弘崇	鈴木美佑	高木優里	佐野友祐	谷口亮平	森雅琴	鈴木佑芽	野呂匠
夏山小学校	六ツ美西部小学校	北野小学校	小豆坂小学校	上地小学校	城南小学校	六ツ美北部小学校	矢作南小学校	矢作西小学校	矢作北小学校	矢作東小学校	大門小学校	松下修大	金子ひかり	日下部可奈子	平田勝太郎	宮崎大輔	加藤こころ	牧野麻穂	山中佳央	雨宮千尋	宮下さくら	井上翼	藤柳惇也	千田麻由	立山颯馬	本多竜斗	安藤優	鬼頭愛実	東海勇輝	森田和世	石川純子	小川百十代	志田颯紀	阿部有彩	土屋郁美	山内瞬	伊藤岳陽	笠原真由美	山田桃葉	羽根田あづみ	松永明梨	安藤稜太	小黒柚葉	音部昌弘	出村尚己	杉浦一輝					
形埜小学校	下山小学校	甲山中学校	美川中学校	南中学校	龍海中学校	葵中学校	城北中学校	福岡中学校	東海中学校	常磐中学校	岩津中学校	矢作中学校	六ツ美中学校	矢作北中学校	新香山中学校	龍南中学校	北中学校	六ツ美北中学校	神ノ門花音	久玉和泉	水口奈々	辻和佳	後藤英太	蛭川和真	前田伊万理	西田雄哉	長谷川璃歌	中根知哉	西尾奈々	有田海人	近藤茅方	角藤裕美	向出遥菜	永井丈流	武藤楓	柴田知里	山本彩乃	早川祥平	浅井菜穂	加藤佑恭	齊藤竜也	松村優輝	両門董	山本満優子	浅野友花	松下大樹	上本芽依	齊藤凜雲人	前田佳那	若尾遥香	



令和五年度の新任事務職員は八名で、配置は次の通りである。

羽根小学校	津田智美
岡崎小学校	三浦明香
竜美丘小学校	佐々木昌彦
細川小学校	岩瀬了
大門小学校	林紗映香
上地小学校	澤田真緒
竜海中学校	小島夕季
北中学校	百富和伽

**●期待の新任事務職員**

六ツ美中部小学校	赤川悠太
六ツ美南部小学校	田中真由美
六ツ美西部小学校	野村美帆
大門小学校	原田茉琴
矢作南小学校	宮下裕未
六ツ美中部小学校	福田彩那
連尺小学校	石田小百合
竜美丘小学校	伊藤優希
三島小学校	望田大輔
美合小学校	鳥居由雅
根石小学校	山田萌乃

**●期待の市任期付教員**

翔南中学校	次呂久尚香
尾張康成	渡邊翔也
神ノ門花音	山田萌乃
久玉和泉	山田萌乃
水口奈々	山田萌乃
辻和佳	山田萌乃
後藤英太	山田萌乃
蛭川和真	山田萌乃
前田伊万理	山田萌乃
西田雄哉	山田萌乃
長谷川璃歌	山田萌乃
中根知哉	山田萌乃
西尾奈々	山田萌乃
有田海人	山田萌乃
近藤茅方	山田萌乃
角藤裕美	山田萌乃
向出遥菜	山田萌乃
永井丈流	山田萌乃
武藤楓	山田萌乃
柴田知里	山田萌乃
山本彩乃	山田萌乃
早川祥平	山田萌乃
浅井菜穂	山田萌乃
加藤佑恭	山田萌乃
齊藤竜也	山田萌乃
松村優輝	山田萌乃
両門董	山田萌乃
山本満優子	山田萌乃
浅野友花	山田萌乃
松下大樹	山田萌乃
上本芽依	山田萌乃
齊藤凜雲人	山田萌乃
前田佳那	山田萌乃
若尾遥香	山田萌乃

## 教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間



・題  
・タイトルバック  
・各タイトル  
・力ツト

南葵中  
嶋田佑子

甲山  
森本優子

教育長  
安藤直哉

## 交通安全教室 (昭和54年)

写真提供：東海中学校



運動場に白線で横断歩道を作り、交通指導員と警察官を招いて、自転車で道路を渡るときに注意点等を指導してもらおう。体験型の「交通安全教室」を通して、生徒が事故防止の意識を高める様子である。広い学区をもつ東海中学校は、ほとんどの生徒が自転車を使い登下校している。国道一号线をはじめ、交通量の多い道路が幾つもある本校は、これまで自転車の正しい乗り方の指導に力を入れてきた。実際に自転車に乗って、自分の運転を振り返る緊張感のある体験型の学習を通して、交通安全の必要性を自分事と捉えて学び、生活の中に取り入れていく。多くの学校が、このような体験型の学びを取り入れて、安全指導を進めてきた。こうした活動的な授業の積み重ねこそが、子供たちの本物の生きる力となる。

ときめく春がやってきた。道端や公園にタンポポやスマレ、ハルジオンなど、色とりどりの草花がいつせいに花を咲かせている。明るく暖かな春の訪れに心が弾む。いよいよ新学期が始まった。新しい出会いや期待に胸を膨らませている子供たち。一人一人の個性あふれる花が咲き誇る一年となりますように。

## とホ

## 卯目ツ



▲ドキドキ、中学校生活スタート (常磐中)

本物と呼ばれる料理を目指し、試作やレシピの改良に時間を惜しまない西川氏。苦勞を語りながらも、その顔には常に笑みが浮かんでいた。実際に体験することでしか得られないものがある。西川氏と一緒に料理に挑戦した児童は、きつと西川氏のように目を輝かせ、料理の楽しさを味わっていたことだろう。

月日を重ねて続けてきた、担任の思いやりのある支援は、自主的に取り組もうとするAの気持ちを引き出した。授業の中で活躍の場ができたAは、次は、授業の外でみんなのために動き出す。子供には、それぞれ違ったよさがある。そのよさが認められる学級作り、授業作りを追究し続ける教師でありたい。



\* <弱いロボット>の思考 岡田美智男  
講談社現代新書 ￥940

### 心に残った一文

<お掃除してくれるロボット>と<それを使う人>、その役割のあいだに線を引いた途端に、相手に対する要求水準を上げてしまう。

お掃除ロボットを買った。壁や家具にこつんこつんと当たりながら働く姿が愛らしい。起動の前の椅子上げ等の準備も意外と苦にならない。なぜだろう。

本書に登場するゴミ箱型ロボットは更に助けがいる。ゴミに近寄っていくが、側でもたもた待つだけ。気付いた人がゴミを入れると、ちょこんとお辞儀して次に行く。そうこうするうちに、ゴミ箱はいっぱいになっていく。一人だけでは何もできない弱いロボットは、関わる人の主体性を引き出す力をもっているのだ。

私もいつのまにかお掃除ロボットに働かされていたらしい。「子供のために」を改めて考えさせてくれる一冊である。

- \*チャイルド・デス・レビュー フロントライン取材班 旬報社 ￥1,700
- \*科学的とはどういうことか 板倉 聖宣 仮説社 ￥1,800
- \*授業の現象学 中田 基昭 東京大学出版会 ￥2,400
- 小豆坂小学校 犬塚 健一